

「校内研修プログラム」の活用事例 ～学級の雰囲気づくりのための校内研修～

【活用するシート】
Ⅲ-1 学級づくり

① 指導や支援

研修時間
15分間

主な内容	
○ 効果的な「指導や支援」について交流し、発達障がいのある子どもへの配慮を含めた学級づくりについての理解を深める研修	
手 順	
準 備	・「Ⅲ-1 学級づくり ①指導や支援」のシート
タイム テー ブル	2分 1 研修のねらいの確認 ・発達障がいのある児童に対する配慮を含めた学級づくりの取組について考える。
	1分 2 研修方法の説明 ○ 演習方法の説明 ・あらかじめ決めた項目についてグループ協議を行う。
	2分 3 シートを活用した演習 ① シートへ記入（個人） ・項目の内容について、現在取り組んでいることを記入する。 ※あらかじめどの項目について協議するかを1～2つ決めておく。
	5分 ② グループ協議 ・3～5人のグループで交流する。 ・項目の取組内容と、関連する課題について出し合い、整理する。 ・実物投映機を使用し、全体で協議内容を交流する。
	3分 ③ 今後の方向性の確認（個人） ・明日から取り組むことを具体的に決定する。
2分 4 まとめ・振り返り	
事後の取組	○ 交流した各グループの内容を基に学級づくりのポイントをまとめ、配付する。

ここがポイント！
短時間で研修を進めるため、あらかじめ交流する項目を決めておくことが重要です。

ここがポイント！
明日からの実践につなげることが大切です。

研修シート（試案）

Ⅲ-1 学級づくり

① 指導や支援

◎ ねらい
通常の学級における発達障がいのある子どもへの配慮を含めた学級づくりの取組を交流し、指導上の課題や解決の方向性を整理する。

1 取組の交流

項 目	事 例	各項目ごとの学級づくりに関する取組交流
※記入例 もめごとやケンカを少なくする取組	※記入例 暴言を減らすために、学級担任が、教室の隅にビニール袋を貼り付けておき、誰かが言った暴言を担任は短冊に書き、それを子どもたちの目の前で破り、ビニール袋に投げ入れています。	}
※記入例 叱り方に見通しをもたせる取組	※記入例 叱ることを最低限に減らし、毅然と叱るため、 ・人の心と体を傷つけたときは、ものすごく叱る ・できることをしないときは、叱る ・名札を忘れたときは、少し叱る など、叱る基準を4月に子どもたちに伝え、それを1年間守ります。	
※記入例 騒がしい教室を静かにする取組	※記入例 どの子ども静かに集中して学習するために、「これから『サイレントモード』を始めます。1分です。」と言って静かにする時間をつくっています。また、どの子ども静かに集中して活動するために、ひそひそ声でしゃべる時間も指示することがあります。	
※記入例 保護者との信頼関係づくりの取組	※記入例 4月初めから、教師から見た子ども一人一人のいいところをメモしておいたり、「お子さんのよいところや担任にのぞむこと」などについて保護者アンケートをとっておき、その情報をもとに、家庭訪問や行事等の機会に「お母さん、◇◇さん、よくがんばっています。□□が得意なんですね。」と声をかけることを大事にしています。	

2 振り返り（学級経営上の課題と解決策について、改めて気付いたこと）

- どんなに小さな配慮であっても、効果があった指導や支援についての実践事例を共有し、学校として方向性をそろえることの重要性を感じました。
- 教師の共通した姿勢が大事だと思いました。
- 子どものよい面を見つけて、指導に活かしていくことが大切だと感じました。